



# 議 会

によどがわ

# だより

2011.2  
第22号



県立仁淀高等学校  
63年間 2106人が学び  
3月閉校



50周年記念庭園

十二月定例会

一般質問 .....2~10P

若者定住支援・借地料は

町長行政報告.....11P

ここが聞きたい.....12~14P

11月9日・26日臨時会 12月8日・9日定例会

ソニア決議 .....16P

委員会報告.....18~19P

高知県仁淀川町議会

TEL 0889 (35) 0111 / FAX (35) 0571 / 発行人: 議長 若藤敏久 / 編集: 議会だより特別委員会 / 印刷: 資佐川印刷所

# 一般質問

町政の当面する課題に活発な議論を展開した。



## 電話予約で

### 答 検討材料

### 答

企画課長

現在、吾川・池川地区で5路線、仁淀地区で3路線がデマンドバスで運行している。  
今後も、利便性に配慮した運行に心がけていきたい。指摘のあった、パソコンへの配車システム入力は検討材料とする。

### 問

西森常晴

東京大学が開発した、「オンデマンドバス」は利用客に大変評判が良い。電話で予約できる方法は取れないか。

# 若者定住の条件 結婚・住居・教育・雇用



大崎小 (元気に遊んでいます)

# 家賃を安くし 若者定住を

問 西森

若者定住は、どう考え、どう実践してきたか。本気で取り組む気がするのか。

答 町長

雇用の創出は、林業振興が中心になると思う。働く世代の人口増は、需要と消費が拡大し、地域経済が活性化の源となる。

問 西森

陰山英雄さんは、15年間、但馬の小さい村で、「早寝、早起き、朝ごはん」で、毎朝、小時間の早朝学習、週二時間の補充授業を実践し、大きな成果をあげ、今は、立命館大学の付属小の校長だ。

仁淀川町に來れば、子どもの学力が上がる、そういった環境づくりはできないか。

答 教育長

若者定住の中で、教育は大きなウエイトを占めていると認識している。全力で努力していきたい。

問 西森

所得が上がったら家賃が高くなる。町外流出の一つの要因となっているが。

答 総務課長

公営住宅で5〜6万の家賃を払っている人から、「これはたまらん」という意見は聞いている。

問 西森

家賃は、国の補助金の手前、勝手に値下げできないことは承知しているが、月3万5千円を超えた分は、別途に補助金で還元してはどうか。子ども手当、介護手当、愛妻手当など、名目はどうでもつけられるが。

答 総務課長

高額者には、ある程度頭打ち制度を検討していきたい。



名野川若者定住 町営住宅3棟 国道より

## 議長一口メモ!

(株)ソニア経営破たんの原因は、林業不振の折、出資金の33%を投資した製材事業にある。

木材を高く仕入れ、大量生産をして安く売る。収入を経費が上回り、事業を続けられただけ赤字が増すという、民間企業では考えられない経営であった。

仁淀川町議会は再三経営改善を要請

したが、一向に改革を構じない経営陣に「これ以上待てないこのままではソニアは倒産する。解散をして出直せ」という決議をした。

その後取締役の解任や製材事業の縮小等、一定の改善が見られ、面積の90%を森林が占める仁淀川町の活性化に、ソニア再生は必要との判断をしたものである。

解散決議から再生決議へ、前代見聞との酷評だが、仁淀川町議会に「ぶれ」はなく当然の決議である。

若藤 敏久

## 中津公園入り口 整備を

問 西森

国道33号線の中津公園入口は、買収して整備できないか。

答 町長

所有者の理解を得るよう話をしていきたい。



# その後

## 答 難聴地域から

防災行政無線放送の改善は、度々質問があったが、その後は。

問 橋本真一

答 町長

スピーカーの設置場所によって感度が悪く、聞き取りにくいなどの指摘があり、向きの調整、個別受信機設置などで対応してきた。

22年度、県の防災総合補助や、町の単独事業で約150基、国の臨時交付金で約600基を、難聴地域から設置していく。

## 環境税

# 利用は

## 答 間伐事業他

問 橋本

答 町長

11月22日の「高知新聞」に、高知県森林環境税の報道があり、税の残高の増加、使用について書かれていたが、本町の納税対象者、また環境税を利用した事業は。

22年度の納税者は、2246人。基金残高は1億8500万円で、間伐事業に最も多く利用されている。町内の利用は20年、21年で約470万円で、間伐、学校への木製ベンチや本棚購入など。

「僕は、仁淀高校の梅木涼です。」



## 会話の大切さ

仁淀高校は人数が少なく、発表する回数が大幅に増えた。

僕は、発表できるようになって、人とのコミュニケーションの大切さを知った。僕を知ってもらうために様々な会話術を仁淀高校で身につけることができ、一つ成長したと思う。

中学の時から比べると自己紹介をちゃんとできるようになった。

(土居甲) 梅木 涼

問 橋本

答 教育長

11月13日「中学生の主張」の後の講演で、環境の話があったが、環境税を使って小中学生に森や水の大切さの勉強ができないか。

小、中学校での森林、環境学習は大事な部分であり、全力で取り組んでいる。吾川中では、1年生が間伐体験で、自然や植物の勉強にも取り組んでおり、今後も小、中学校の環境学習は、しっかりと取り組む。



吾川中 間伐体験